

同時資料配布先：

学研都市記者クラブ

2014年1月10日

公益財団法人地球環境産業技術研究機構

平成 25 年度 ALPS 国際シンポジウム
— 持続可能な温暖化対策の実現に向けて —
開催のご案内

当機構では、経済産業省の委託事業として「地球温暖化対策技術の分析・評価に関する国際連携事業」（通称 ALPS: ALternative Pathways toward Sustainable development and climate stabilization）を実施しています。本事業では、グリーン成長につなげていくためには、温室効果ガス排出削減を中心とする温暖化緩和、温暖化の影響への適応策をどのように進めるべきなのか、また、どのような政策が有効なのか、に焦点を当てた研究を行っています。

この度、本事業の平成 25 年度成果報告会として標記シンポジウムを開催いたします。

本シンポジウムには、この分野で活躍している国内外の著名な専門家をお招きし、ご講演頂きます。地球温暖化を抑制して持続可能な社会を実現するために必要な政策について、最新の研究成果をご紹介しますので、ご関心のある方は是非ご参加下さいますようお願い申し上げます。

1. 開催概要

主 催： 公益財団法人地球環境産業技術研究機構

共 催： 経済産業省（予定）

日 時： 2014年2月4日（火） 10:00-17:35

会 場： 東京国際フォーラム ホール B5（東京都千代田区丸の内3丁目5番1号）

参加費： 無料

定 員： 200名

プログラム：

- ・ 基調講演：中期・長期の温暖化対策目標をめぐって

（公財）地球環境産業技術研究機構 理事長

茅 陽一

- ・ 講演：持続可能な気候変動政策の目標達成への戦略

国際応用システム分析研究所 副所長

ネボーシャ・ナキシエノビッチ

- ・ 講演：気候変動政策の経済的観点

ハーバード大学 教授

ロバート・スタヴィンズ

- ・ 講演：地球温暖化リスクのトレードオフと社会のリスク判断

(独) 国立環境研究所 地球環境研究センター

気候変動リスク評価研究室 室長

江守正多

- ・ 講演：タイトル未定

コロンビア大学 教授

スコット・バレット

- ・ 講演：世界におけるエネルギー気候変動政策の進展—2015年の国際合意にどのような意味を持つのか

エコフィス エネルギー・気候政策 ディレクター

ニクラス・ヘーネ

- ・ 講演：米国における短期気候変動政策—混合戦略アプローチ

未来資源研究所 気候・電力政策センター

上席研究員・センター長

レイモンド・コップ

- ・ 講演：不確実性を踏まえた気候変動対応の総合戦略

(公財) 地球環境産業技術研究機構

システム研究グループ グループリーダー

秋元圭吾

(詳細はパンフレット参照願います。)

2. 参加登録

参加希望される方は、FAX 参加申込用紙に必要事項をご記入の上、1月29日(水)までにお申し込み下さい。出席希望者多数の場合は先着順となりますので、あらかじめご了承ください。

3. プレス登録

取材を希望される報道関係者の方は、事前に参加申込み下さいますようお願いいたします。やむを得ず当日受付となる場合は、本人確認のため名刺をご持参下さい。

本件に関するお問合せ先：

シンポジウム内容・参加登録に関するお問合せ先

システム研究グループ

TEL : 0774-75-2304 FAX : 0774-75-2317

企画調査グループ 広報・産業連携チーム 鉄矢、辰巳

TEL : 0774-75-2301 E-mail: pub_rite@rite.or.jp

平成25年度 ALPS国際シンポジウム

持続可能な温暖化対策の実現に向けて

FY2013 ALPS International Symposium
 Moving toward Sustainable Climate Change Actions

同時通訳あり
 参加無料

平成26年2月4日(火) 10:00~17:35 (受付開始9:30)

東京国際フォーラム ホールB5(東京都千代田区丸の内3丁目5番1号)

主催：公益財団法人 地球環境産業技術研究機構 (RITE)
 共催：経済産業省 (予定)

ごあいさつ

国内では東日本大震災後、最大の課題となっている原子力を含めたエネルギー政策について議論が進展中です。一方、気候変動政府間パネル(IPCC)の第1作業部会は、2013年9月に第5次評価報告書を承認し、その中で「人間活動が20世紀半ば以降に観測された温暖化の主な要因であった可能性が極めて高い」と従来の報告書よりも更に強い確信度を持って気候変動に関する警鐘を鳴らしました。地球温暖化問題は、強い決意を持って着実に取り組んでいかなければならない課題です。国連気候変動枠組条約においては、京都議定書に代わる効果的な新たな枠組みの策定に向けた議論が進められています。しかし、実効ある温暖化対策の実現は大変難しい課題です。世界が地球温暖化問題に的確に対処していけるようにするためには、地球温暖化問題そのものだけでなく、世界の経済社会状況と将来の見通しなどを含めて広く深く理解した上で、地球温暖化対策を長期的かつ広範な視野を持って立案・実行していくことが大切です。

RITEでは、経済産業省の委託事業として「地球温暖化対策技術の分析・評価に関する国際連携事業」(通称ALPS:ALternative

Pathways toward Sustainable development and climate stabilization)を実施しています。この研究事業では、グリーン成長につながるようにするには、温室効果ガス排出削減を中心とする温暖化緩和、温暖化の影響への適応策をどのように進めるべきなのか、また、どのような政策が有効なのかに焦点を当てた研究を行っています。そして、地球温暖化問題研究で世界的に著名なオーストリアの国際応用システム分析研究所(IIASA: International Institute for Applied Systems Analysis)をはじめ、世界の研究機関とも協力しながら研究を進めています。

このたび、本研究事業の成果報告会として平成25年度ALPS国際シンポジウムを開催致します。また本シンポジウムには、この分野で活躍している国内外の著名な専門家をお招きし、ご講演頂きます。地球温暖化を抑制して持続可能な社会を実現するために必要な政策について、幅広い方々が最新の研究成果をもとに深く考えられる機会にしたいと考えますので多くの方々のご参加をお願い申し上げます。

(公財)地球環境産業技術研究機構 山地 憲治

<http://www.rite.or.jp/>

会場ご案内

東京国際フォーラム ホールB5

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3丁目5番1号
 TEL:03-5221-9000

- 有楽町線：有楽町駅(B1F地下コンコースにて連絡)
 日比谷線：銀座駅より徒歩5分/日比谷駅より徒歩5分
 千代田線：二重橋前駅より徒歩5分/日比谷駅より徒歩7分
 丸ノ内線：銀座駅より徒歩5分
 銀座線：銀座駅より徒歩7分/京橋駅より徒歩7分
 三田線：日比谷駅より徒歩5分
- JR有楽町駅より徒歩1分
 東京駅より徒歩5分
 (京葉線東京駅とB1F地下コンコースにて連絡)

お申し込み・お問い合わせ

公益財団法人 地球環境産業技術研究機構 システム研究グループ

〒619-0292 京都府木津川市木津川台9-2
 TEL:0774-75-2304 FAX:0774-75-2317

■ 公益財団法人 地球環境産業技術研究機構
 Research Institute of Innovative Technology for the Earth
<http://www.rite.or.jp/Japanese/lab/syken/systemken.html>



持続可能な温暖化対策の実現に向けて

平成26年2月4日(火) 10:00~17:35 (受付時間9:30)

東京国際フォーラム ホールB5 (東京都千代田区丸の内3丁目5番1号)

主催:公益財団法人 地球環境産業技術研究機構(RITE) 共催:経済産業省(予定)

定員
200名



プログラム

10:00	開会挨拶	山地 憲治 公益財団法人 地球環境産業技術研究機構 研究所長
10:05	来賓挨拶	経済産業省 産業技術環境局
10:10	基調講演	茅 陽一 公益財団法人 地球環境産業技術研究機構 理事長 “中期・長期の温暖化対策目標をめぐって” Yoichi Kaya, President, RITE “On the medium term and long term targets of mitigating global warming”
10:45	講演	ネボーシャ・ナキシェノビッチ 国際応用システム分析研究所 副所長 “持続可能な気候変動政策の目標達成への戦略” Nebojsa Nakicenovic, Deputy Director/Deputy CEO, International Institute for Applied Systems Analysis (IIASA) “Strategies for achieving sustainable climate goals”
11:30	講演	ロバート・スタヴィンズ ハーバード大学 教授 “気候変動政策の経済的観点” Robert N. Stavins, Professor, Harvard University “An economic perspective on global climate change policy”
12:15	休憩	
13:25	講演	江守正多 (独)国立環境研究所 地球環境研究センター 気候変動リスク評価研究室 室長 “地球温暖化リスクのトレードオフと社会のリスク判断” Seita Emori, Head, Climate Risk Assessment Section, Center for Global Environmental Research, National Institute for Environmental Studies (NIES) “Trade-offs in climate risks and societal risk decision”
14:10	講演	スコット・バレット コロンビア大学 教授 (講演タイトル未定) Scott Barrett, Professor, School of International and Public Affairs, Columbia University (To be determined)
14:55	講演	ニクラス・ヘーネ エコフィス エネルギー・気候政策 ディレクター “世界におけるエネルギー気候変動政策の進展—2015年の国際合意にどのような意味を持つのか” Niklas Höhne, Director, Energy and Climate Policy, Ecofys “Progress in energy and climate policies around the world - What does it mean for the 2015 international climate agreement?”
15:40	休憩	
16:00	講演	レイモンド・コップ 未来資源研究所 気候・電力政策センター 上席研究員・センター長 “米国における短期気候変動政策—混合戦略アプローチ” Raymond J. Kopp, Senior Fellow and Director, Center for Climate and Electricity Policy, Resources for the Future (RFF) “US near term climate policy-A mixed strategies approach”
16:45	講演	秋元 圭吾 公益財団法人 地球環境産業技術研究機構 システム研究グループ グループリーダー “不確実性を踏まえた気候変動対応の総合戦略” Keigo Akimoto, Group Leader of Systems Analysis Group, RITE “Climate change response strategies considering uncertainties”
17:30	閉会挨拶	本庄 孝志 公益財団法人 地球環境産業技術研究機構 専務理事

参加ご案内

1月29日(水)までに同封の申込書に必要事項をご記入の上、FAXでお申込みください。当日はFAXされた申込書を受付にご提出ください。
※定員(200名)になり次第、締め切らせていただきますので、あらかじめご了承ください。
ご提供いただいた個人情報は、今後当機構の関係するイベント等のご案内のために利用させていただくことがあります。
ご不要な方は、その旨お知らせください。

平成25年度 ALPS国際シンポジウム
— 持続可能な温暖化対策の実現に向けて —

F A X 参加申込書

この用紙に必要な事項をご記入の上、**1月29日(水)**までにFAXでお申込みください。
申込書の受領をもって受付完了とさせていただきます。
当日はこのFAX申込書を受付にご提出ください。

日 時：平成26年2月4日(火) 10:00～17:35 (受付開始9:30)
場 所：東京国際フォーラム ホールB5 (東京都千代田区丸の内3丁目5番1号)
アクセス方法：有楽町線:有楽町駅(B1F地下コンコースにて連絡)・日比谷線:銀座駅より徒歩5分/日比谷駅より徒歩5分・千代田線:二重橋前駅より徒歩5分/日比谷駅より徒歩7分・丸ノ内線:銀座駅より徒歩5分・銀座線:銀座駅より徒歩7分/京橋駅より徒歩7分・三田線:日比谷駅より徒歩5分
JR有楽町駅より徒歩1分 東京駅より徒歩5分 (京葉線東京駅とB1F地下コンコースにて連絡)

ご 氏 名	フリガナ	E-mail アドレス	
ご所属機関	フリガナ		
ご所属部署		お 役 職	
所 在 地 (ご住所)	(〒 -)	電 話 番 号	

※出席希望者多数の場合は先着順となりますので、あらかじめご了承ください。
※申込用紙一枚につき、お一人のお申込をお願いします。(複数名ご出席の場合は、お手数ですが本用紙のコピーをお使いください。)
※ご提供いただいた個人情報は、参加者名簿の作成、RITEのイベント情報等のご案内のために利用させていただくことがあります。

シンポジウム当日は会場受付まで本申込書をお持ちください。

お申込み・
お問合せ先

公益財団法人 地球環境産業技術研究機構 (RITE) システム研究グループ
TEL 0774-75-2304 FAX 0774-75-2317 www.rite.or.jp

通信欄

今回の国際シンポジウムには参加しないが、所属・住所変更あり

・ご氏名

・ご所属機関

・ご所属部署・役職

・ご住所 〒

今後、案内状の送付は不要 その他()